

## 行政パートナー事業

郡上市では、行政と市民、または市民団体が協働で行政の業務を行う新しい事業推進方式を実施しています。一緒に業務を進める市民、市民団体を「行政パートナー」と呼んでいます。

今回の広報特別号の編集業務は、この方式により行いました。



# 編集員のひとこと



赤塚 良成

予算と決算は、郡上市の「過去」「現在」「将来」を表しています。それらの広報特別号を編集する作業で郡上市特有の多くの事情を垣間見ることができました。その中で特に重要と感じたことを記しておきたいと思います。郡上市の今後を議論する際に問題としていただければ幸いです。

郡上市には減らすことのできない大きな支出があります。合併前に重ねた大きな借金の返済。行財政改革の途上で多大な人件費。広大な山間地を有して山林や河川、道路、設備の維持管理にかかる大きな費用。これらは簡単に解決できない問題だと言われています。それは本当でしょうか。

次に、郡上市独自の収入が少ない厳しい状況があります。郡上市の経済が振るわない現状を表しています。人口が減少する悪循環につながっています。

郡上市は産業の振興を目指して、古くからある産業を守り活性化する目的で特に1次産業を維持する基盤整備に多くの費用を使っています。一方で、持続可能で時代に適応した新産業の育成も目指していますが、金額がまだ小さな予算です。低迷または衰退する産業を再生することは大変難しく、一方で新産業の育成に成功していない現状を知り、双方に危機感を持ちました。地域資源を維持するためのハードウェアにいくら投資しても、ビジネスモデルを編み出す人材の育成や先進的で効率的なアイデア（ソフトウェア）の開発がなくては郡上市の経済を好転させることはできないと思います。

最後に、郡上市の人口は、最近の10年で自然減が約2,500人、転出超過が約2,500人、合計で約5,000人が減りました。1年に200人もの20代の若者が郡上を離れています。若者が少ない社会は活気が無く、経済を活性化する方法も限られます。今後の郡上市の予算が、若者が働きたくなる町づくりに重きを置いた予算に変化して将来に成功することを切望します。

大坪 照雄

広報の予算・決算特別号の発行は平成24年度に始まり、25年度と計4回の発行となりました。

広報特別号は市民協働の考えを活かした行政パートナー制度により、公募に応じた一般市民が平成24年度は5名、平成25年度は3名と事務局（秘書広報課）とが協働して、少しでも多くの市民の皆様を読んで頂けるにはどんな広報にしたら良いか試行錯誤を繰り返し発行してきました。

幸い多くの市民の皆様が「比較」好意的に受け止めて頂き、更に嬉しかったのは郡南中学を始めとして各中学校で教材として活用してもらえたことです。

元来、予算とか決算というのは数字ばかりが多く、又堅い表現もあり決して面白いものではありません。

しかし、予算や決算はすべて私たちの生活に密接に結びついています。そこで市は多くの市民の皆様が行政の状況や市の財政について知り、関心を高めて頂きたい。そんな願いのもとに特別号の発行に至った訳です。

勿論、予算、決算は通常の広報でも詳しく述べられておりダブリの面も否定はできません。反面、公募による委員が市民の目線で編集しひと味ちがう広報にする必要もあった訳です。

ところがこの広報特別号は今回限りで平成26年度は予算の都合もあり中止となりました。

私たち編集委員は色々とお知らせを繰り返し発行する度に内容を見直してきましたが、まだまだ道半ばというところで少し残念な気もしています。でも、大事なことは、広報特別号の内容で特に参考にすべきところが有れば、通常の広報にどう反映させて行くかにあると思います。そうでなかったら2年間の広報特別号は単なる税金の無駄遣いになってしまいます。

そのことが市民協働や市政の改善などにも繋がって行くものと考えています。

有井 弥生

自治体の仕事は、「予算」というのがとても大切という事がなんとなくはわかっていましたが、今回関わらせていただいてより痛感しました。予算がないことには、ヒト、モノ、お金が動かせないからです。

その予算を決めるにあたっては、多くの方の想いが形になっていると思いました。郡上市の現在または将来に向かって、「こうなったらいい」「こうしたい」という想いです。もちろん、国の施策が反映されているものも多いですが、郡上市ならではのものもあります。一部がかもしれませんが、私たち市民の想いが予算という形になり、そして行政サービスへとつながるものもあると思います。

この予算特別号は、郡上市の収入と支出の見積もり、また私たち市民がどのようなサービスを受ける事ができるのか、郡上市はこの先どういった方向を目指しているのか等重要な情報が載っています。数字等わかりにくいところもあるかもしれませんが、皆様により身近に感じてもらうと工夫し、大切な情報のみお伝えしています。

まず私たちは、市民として「予算」について、知ることから始めてみませんか。なぜなら、自治体の経営のツケというのは、間違いなく私たち市民やこの先を担う子供たちにまわってくるからです。私たち市民には、任期というものもないですし、簡単に引越すこともできません。郡上市の将来のためにも、私たち自身が納めている税金の使い道について考え、見守っていく必要があると思います。

## ご意見、ご感想をお寄せください

従来の広報での予算説明は、誌面の制約から数字中心になり、読みづらい面もあったと思います。

市民目線で見て、少しでも分かりやすい内容となるよう試みました。

内容はいかがでしたか。ご意見、ご感想をお聞かせください。

■発行/岐阜県郡上市

■編集/広報郡上特別号編集委員・秘書広報課

〒501-4297 岐阜県郡上市八幡町島谷 228 番地

TEL0575-67-1121 FAX0575-67-1711

メール: kouhou@city.gujo.gifu.jp

■発行日/平成26年5月1日

